

第3回白梅発達臨床セミナー

くらしの中の心理学

講師：金子 尚弘・倉澤 壽之・多喜乃 亮介

今回の発達臨床セミナーでは、私たちの暮らしの中に心理学はどのように関わっているのかを理解することを目的として、「人の行動を変えるには?」「血液型は人の行動と関係あるのか?」「心は身体にどのような影響を与えているのか」などについて「心理学」の視点からくらしの中の疑問について考えた。講師の先生には、応用分析、社会心理学、生理心理学といった各々の専門分野における心理学の知見を踏まえお話頂いた。日常に

おける私たちの行動、そして「常識」を心理学の立場から改めて考えることができ興味深い内容となった。参加者は非常に熱心に聴いており、質問も活発に出された。またアンケートの結果からも非常に好評であった様子がうかがえた。参加者はのべ128人であった。開催場所が、国分寺Lホールで行ったため、交通の便がよく遠方からも参加頂くことができた。

(小保方 晶子)

=プログラム=

金子 尚弘 白梅学園大学子ども学部子ども学科教授

「うまいほめ方、叱り方—応用行動分析の立場から」

1月9日(月) 14:00～16:00

倉澤 壽之 白梅学園大学子ども学部子ども学科教授

「常識を疑う心理学」

1月29日(日) 14:00～16:00

多喜乃 亮介 白梅学園大学子ども学部発達臨床学科教授

「こころとからだ—脳から考える」

3月20日(火) 14:00～16:00